

## 令和2年度 第3回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和2年8月25日(火) 17:00～18:00

【場 所】 望来コミュニティセンター1階多目的ホール

【出席者】 12人(15人中)

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	築田 敏彦	○	委員	加藤 亞弓	○	委員	角野 亮太	○
副会長	渡邊 教円	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	平賀 敏和	○
委員	相原 雄太		委員	小山 玲子	○	委員	丸山 真嗣典	○
委員	東 幸子		委員	今 光江	○	委員	森田 瞳	○
委員	大内 さつき	○	委員	笹谷 清一	○	委員	八木沼 英晃	

※会長・副会長を除き、あいうえお順

企 画 経 済 部 ～中西次長

厚 田 支 所 ～東支所長・相原 帆副課長兼和生遊学課長

地域おこし協力隊 ～吉川隊員・飯塚隊員・秋葉隊員

事務局(地域振興課) ～高田課長・永塚主幹・佐藤主査・寺尾主査

【傍聴者】 3名

- 【次 第】
1. 開会
  2. 会長挨拶
  3. 情報交換(リラックスタイム)
  4. 協議事項
    - ・集落支援員制度検討委員会について
    - ・厚田区地域おこし協力隊活用検討委員会について
  5. 報告事項
    - ① あったかニュースの発行について
    - ② その他
  6. その他
  7. 閉会

## 1. 開会

### 【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

開会の前に、本日、八木沼委員、東委員、相原委員から欠席の連絡を受けているので、報告させていただく。

それでは只今から令和2年度第3回厚田区地域協議会を開催する。開会にあたり築田会長からご挨拶をお願いします。

## 2. 会長挨拶

### 【 築田会長 】

こんばんは。暑い日が続くが皆さん体調はどうか。新型コロナもさることながら熱中症にも注意して過ごしていただきたい。実りの秋が近づき、田んぼでは稲が色づいて来ている。畑ではじゃがいもが収穫の真最中。海では鮭定置の型入れが進められており、今年は鮭漁の豊漁を願う。

本日は案件がいろいろと用意されているので、早速始めたいと思う。

## 3. 情報交換 (リラックスタイム)

- ・道の駅の情報について～こだわり隊イベント出店の状況等。土曜日より日曜日の方が客が多い感じ。(小山委員)
- ・厚田キャンプ場について～今年度は現在のところ前年度を超える入込数となっている。着地型の一環で行っている手ぶらでキャンプ事業も募集後すぐに満杯。参加者のアンケートから好評。(佐藤主査)。
- ・厚田学園について～夏休みが短かったが再開後も子どもたちは元気に登校している。8月26日、27日の両日は社会見学で円山動物園へ。9月5日運動会の代わりに記録会を行う。CS委員会が4月からスタートし、各部で積極的に活動している。あいさつ運動、防災訓練、ソクラテスミーティング、CS通信発行などの活動が今後予定されている。(丸山委員)

## 4. 協議事項

### ①集落支援員制度検討委員会について

#### 【 笹谷委員 (集落支援員制度検討委員会準備会 委員長) 】

前回の地域協議会の中で、事務局から集落支援員制度について情報提供があり、地域住民も含めた地域協議会の下部組織として集落支援員制度検討委員会を設置し導入の是非を決めること、検討委員会を組織する前に地域協議会委員数名からなる準備会を作り検討委員会構成メンバーを検討することを確認した。準備会のメンバーは事務局に一任されていたが、私の他、大内委員、平賀委員、鎌田委員、大内委員、東委員5名の他、築田会長、渡邊副会長をオブザーバーに迎え、この7名に事務局を加えて8月3日協議を行った。その際私が準備会の委員長に任命されたので、本日は私から提案させていただく。

冒頭事務局から道内で活動している集落支援員の状況などが説明され、それを基に厚田が必要としている集落支援員や活動内容についてフリートークを行った。出された意見として、地域交通に関わってもらい、外部人材であっても地域に愛着を持っている人が望ましい、生活支援に関わるまちの便利屋さんのイメージ等があった。これらをベースに検討委員会のメンバーを話し合い、集落支援に関わるという意味合いから、厚田区自治連合会から会長、副会長の2名、厚田区地域協議会から準備会委員の5名、地域交通の切り口からNPO法人ライフサポートの佐藤会長、民生委員から副会長でありNPO法人ライフサポートの事務局長も務めている宮岸さん、以上の計9名を選考し準備会を終了した。

その後事務局で委員就任の内諾を得たことから、明日8月26日第1回目の検討委員会を開催する運びとなった。

私からは以上です。

#### 【 築田会長 】

引き続き高田課長から説明願う。

#### 【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

資料1 なぜ今、集落支援員なのか 参照

前回、小山委員からなぜ今集落支援員制度を検討するのかという意見があった。厚田区ではこれまで地域協議会が中心となり、厚田区が目指す将来の姿『近説遠来』(きんせつえんらい) という目標を掲げ、達成に向けて様々な動き、展開

を図って来た。今一度これまでの振り返りながら、なぜ今、集落支援員制度なのか、を A3横版の資料にまとめたのでご覧いただきたい。

上段から順番に、左から右という流れで説明をさせて頂く。始にこれまでの一つひとつの取り組みは、最終目標である厚田区が目指す将来の姿「近説遠来」を達成するため、長い歳月をかけながら計画的に積み上げてきたものであり、全てはカンパニー構想の実現、すなわち「近説遠来」に繋がっていくこととなる。

平成 17 年 10 月平成の大合併により地域自治区となる、「地域協議会」「支所」が設置され、合併当初は、熱い想いを抱く地域の方々が多数存在していたこともあり、6年間で7つの地域振興団体が誕生した。24 年度には、外部の視点で地域を活性化しようと地域おこし協力隊活用検討委員会が設置され、2年間の議論を経て、26 年度より国の制度を活用し、6年間で8人を導入している。25 年9月には第4期地域協議会において、厚田区が目指す将来の姿を「近説遠来」と定め、任期満了時の「総括」「振り返り」において、第5期委員へ引き継いだ。

また、同じく第4期委員より、これまでの7団体の活動を点から線に結び付けるための拠点が必要との考えから、同年 11 月活動団体の拠点づくりを目指し、複合施設建設構想策定委員会が設置され、約2年間の議論を経て最終的には地域活性化の核となる、道の駅の開業へと繋がり、近説遠来の「遠来」を具現化したところである。

次に 29 年6月には、「いつまでも 住み慣れた 厚田の地で生活ができる」仕組みづくり、住民同士が支え合う街、必要とされる拠点づくりを目指し、厚田カンパニー構想を策定した。地域の人達は、この「支え合いの街」を本当に望んでいるのかを問うため、同年 11 月に住民アンケート会議による調査を実施し、3つの地域課題が確認された。平成 31 年4月から課題の一つである地域交通を検討するため、地域交通サービス検討委員会が設置され、利用者を見極めるための聞き取り調査を実施し、足が公共交通しかない需要度ランク5の利用者を特定した。

今後は、まずは既存交通を活かす取り組みという視点で、利用者のニーズに答える取り組み、具体的には中央バスのトーマン団地から厚田迄の午後の空白時間帯に何か解決策はないかなど検討しており、今後は事業者である中央バス、ダイコク交通、更には有償運送運営協議会等と協議調整を進めながら、R3年4月から試行運行、R4年4月からは試行実績を踏まえた、本格運行へと導き出すことを模索している。

また、この交通の運転手として、集落支援員を業務の一つとして活用できないかなど、交通会議での意見を受け委員皆様の合意のもと、集落支援員制度検討委員会が正式に発足し、これらも意識しながら、具体の検討を進めていく。集落支援員は、内部の実情に詳しい「内部人材」を第一に求め、アンケート調査「最終報告書」の提言では、地域では、意見する人、支援する人、アイデアを出す人は大勢いるが、地域を革新的にけん引する人材、すなわちトリガー的人材を探すことは極めて難しく、少子高齢化が進むと、ますます地域のために自ら汗を流してくれる人材確保が難しいと報告されている。

合併直後は、地域の中に 自らが中心となり地域を引っ張って行くトリガー的人材がいたが、合併後 15 年が経過し、トリガー、けん引者がなかなか導き出せないで今に至っている。集落支援員を地域のけん引者に導くことができないか、導きたいとの想いで検討委員会が設置され、このタイミングで検討が進められる運びとなった。

次に、明日の第1回集落支援員制度検討委員会時に使用する資料の案になるが、検討の「目的」「視点」が中段から後段に今後のスケジュールが裏面に記載されている。明日の議論を経て、このようなスケジュール感で進めて行きたいと考えている。

私からの説明は以上です。

#### 【 築田会長 】

今、準備委員会の笹谷委員長から検討委員会のメンバーと事務局から集落支援員制度について詳しい説明があったが、これまでの中で何か質問等はないか。

#### 【 森田委員 】

まだぼんやりした感じだが、要は集落支援員制度を使って地域のトリガー的人材を掘り起こしたいということか。

#### 【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

それも目的の一つ。古くから地域協議会委員をやられている方はこのような動きで、最終目標に向かって話し合いを進めていくというイメージがつかめていると思うが、新しい委員については研修も行って説明もしているが、一回聞いただけでは中々イメージが掴めないと思う。これから正に厚田カンパニー構想の集大成、具現化となり、この取り組みである程度完結できればと思う。森田委員の言ったことも意識して集落支援員の活用を考えている。

#### 【 築田会長 】

まずは明日の検討委員会からスタートし話がどんどん進んで行くと思う。地域協議会の中でも随時報告されるものと思うが、検討委員会の設置についてはよろしいか。他に意見や質問はないか。

#### 【 全委員 】

特になし。全会一致で承認。

### ②厚田区地域おこし協力隊活用検討委員会について

#### 【 (厚) 地域振興課 永塚主幹 】

資料2 厚田区地域おこし協力隊活用検討委員会 (案) 参照

今年度で江崎隊員が卒業となるが、第7期地域協議会からの引継ぎ事項である、協力隊4名体制の維持に向け、4月以降、新たに1名を選任したいと考えている。ついては、これまでの検証と今後の活用に向けて検討委員会を立ち上げ、地域が必要とする人材の確保に向けて、募集テーマなどの募集要項案を策定し、地域協議会へ答申して参りたい。

事務局としては、これまでも、地域協議会委員、各地域振興団体や産業団体、及びその時々が必要と思われる方々を委員に選出している。地域協議会からは今回も会長、副会長にお願いしたいと考えている。

全体的なスケジュールとしては、今後委員を選任し、検討委員会を設置、9月中に検証と導入可否を決定し、9月の地域協議会で報告させていただく。導入可であれば、12月中に必要とする人材の詳細を整理し、12月の地域協議会で募集要項を提案したい。協議会の承認を受けたのち、市で募集事務をスタートさせ、最終的に5月1日の新規採用を目指したいと考えている。

以上、委員皆様にご提案させていただくので、協議の程よろしく願います。

#### 【 築田会長 】

今説明あったとおり、厚田区地域おこし協力隊活用検討委員会を立ち上げるということによろしいか。また委員の選任について、地域協議会から会長、副会長ということによろしいか。その他に産業団体や道の駅、協力隊OB、移住定住者等という案であるが他に意見があれば伺いたい。なければ案の通りとし、人選も含め事務局にお願いするということによろしいか。

#### 【 全委員 】

全会一致で承認。

## 5. 報告事項

### ①あつたかニュースの発行について

#### 【 (厚) 地域振興課 佐藤主査 】

添付資料 あつたかニュース第16号 (回覧) 参照

前回の地域協議会の後、加藤委員・森田委員・相原委員八木沼委員と事務局の私を含めて編集委員会を行い各担当を決めて紙面を作成し、何度か校正を繰り返して今お配りしている第16号が完成した。8月28日、広報配付日と合わせて回覧する。

また、次号第17号の発行タイミングについては、これまで年2回、4月、10月を基本的な発行月としてきたので、今年度1回目のタイミングがずれたこともあり、編集委員で打合せて今年度の2回目を決めていく。

### ③その他～情報提供

#### 【(厚)地域振興課 佐藤主査】

添付資料 八田美津人形展 参照

9月5日から11月3日までの日程で、道の駅石狩「あいろーど厚田」2階の文学・芸術コーナーで浜益区の八田美津さんの創作人形展が開催される。現在も北前船のジオラマとともに八田さんの人形が展示されているのはご存じと思うが、今回はお配りしたチラシにあるような、農業、林業、生活の風景を中心とした人形を展示する。ご存じの方もいると思うが、昔厚田小学校の教頭だった石黒さんが製作に関わっており、人形以外の精巧なミニチュアは石黒さんの手作りによるもの。ぜひ実物を道の駅でご覧いただきたい。

その他、前回の地域協議会から本日迄の新聞記事についてまとめているので参照願いたい。

#### 6. その他

#### 【(厚)地域振興課 高田課長】

今回は、9月24日木曜日、18時から厚田総合センター2階ホールで提案させていただく。

#### 7. 閉会

#### 【築田会長】

全体を通して何かないか。なければこれで本日の協議会を終了する。委員の皆さんご苦勞様でした。

#### ○次回の日程について

令和2年9月24日(木) 18時00分～ 厚田総合センター2階ホール

令和2年9月24日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長

築田敏彦